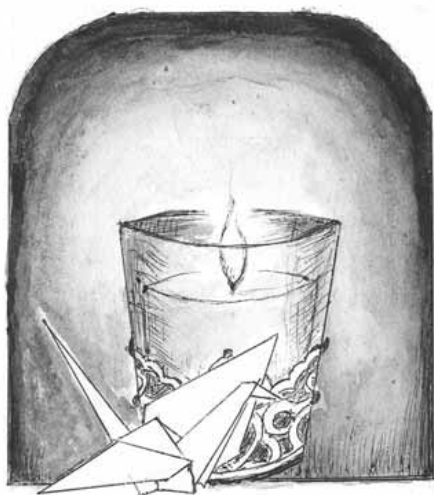




カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

いかずちの子

使徒言行録10.36-37 <http://www.machida-catholic.jp/>



人の根

主任司祭 小池 亮太

神がイエス・キリストによって - この方こそ、すべての人の主です - 平和を告げ知らせ、イスラエルの子らに送ってくださった御言葉を、あなたがたはご存じてでしょう

青い空に大きな入道雲が湧き、その雲が夕立をもたらすと、その後には美しい虹が架かる季節となりました。  
この夕立は、照りつける太陽の下にあった植物に、恵みの水をもたらします。多くの植物は根から水を吸収しますが、根は地中であって目に見えませんが、根は植物を支え、水だけでなく養分も吸収する重要な器官です。したがって、植物を植えた時

に、上手く根が張らないと風で倒れやすくなり、水も養分も取り込めずに元気がなくなり、場合によっては枯れてしまいます。  
逆に、地中の根が生きているならば、地上の幹や葉が切り取られたとしても、再び新芽が生えてきます。木が大きくなり過ぎて、台風の際には危険だ」という理由で切り倒された、町田教会の前庭のナンキンハゼの切り株からも、

新芽がたくさん出て、勢いよく伸びてきました。このように、植物の命は不思議です。  
ところで、日本語の「根」という言葉は、『植物の器言』を意味するだけでなく、『息の根を止める』というように、『物事の基礎や土台』を、『悪の根を絶つ』という場合には、『物事の起こる原因』、『根はやさしい人』と使うならば、『本来の性質』というように、様々な意味を持っています。しかし、どの意味も「目に見えない」ことでは共通しているように思います。  
実は、私たち人間も、植物のように「目に見えない」けれど、生きてゆくために大切な根を持っています。そして、この根をどこに下ろして、張ってゆくのが、生きていく上でとても重要になります。  
私たちは、カトリックの洗礼を受けた時に神の国に根を下ろします。そして、信仰を持って歩んでいく中で、神の国に根を伸ばし、しっかりと張っていきます。このようにして神の国に根付いた人は、その根によって、与えられた命を生きるために必要なものを吸収しながら生きていきます。  
また、日本語の「根」の持つ意味のように、自分の「存

在・性質」と『由来・原因』が神からのものだということを確認、自分の『基礎・土台』を神に置き、そこに立つて様々な物事を見て、判断し、行動しながら生きてゆきます。  
しかし、自分では一生懸命に神の国に根を広げ、張ってきたつもりでも、それは「目に見えない」ので、確かめようがありません。  
けれど、神の国に下ろした根がしっかりと張っているなら、世界に良くないことが起きた時も、自分自身が困難に遭った時にも、その根によって支えられ、揺らぐことがないでしょう。  
また、いつか身体は滅びるとしても、神の国に張った

根が生き続けるのだから、「神は、私をキリストと同じように復活させる」と信じることができます。そうであるならば、病気の時、死に直面する時にも、落ち着いていられるでしょう。  
そして、根が神の国にしっかりと張っているなら、その人の生き様は美しいはずですが、なぜなら、人が与えられた命を美しく生きるための恵みを、神は常に与え続けているのだから……このようなことを思い巡らしていた時、枯れたと思つて切つてしまったカラシタネの切り株からも、緑色をした柔らかい芽が、いくつも伸びているのを見つけたのでした。

運営委員をお引き受けして

運営委員会 教会業務担当 富田 充裕

今年度の運営委員になりました富田です。私の教会との関わりは、10年ほど前に教会に本部を置かせてもらっているポークアウト町田第1団のリーダーになったことからスタートしています。とはいえ、ポークアウトと教会の活動の接点は乏しく（納涼祭やバザーのお手伝いぐらいでしょうか）、教会の信者の皆様との接点はこれまでほとんどありませんでした。  
今年の1月にたまたま教会の新年会に出席したところ、運営委員にならないかとお誘いを受けました。正直、何をやる委員なのか分からなかったですし、お引き受けできるだけの力量があるのかも不安だったので、他の信者の方との接点を持ちたかったとの気持ちがあったことからお引き受けすることにいたしました。今回の会報では、新任の運営委員になった感想、委員としての抱負について書かせていただこうと思います。



## 平成25年度 カトリック町田教会 実行体制 (I)

### 教会業務担当 (運営委員: 鈴野 将・富田充裕)

担当	担当業務	業務内容	連絡責任者	構成メンバー
教会業務	庶務	ミサ案内 その他	田澤 三郎	山口 広文・新納 春雄・立木 欣吾・赤瀬 亮一 大木 雅信・幾永 弘・瀧口 裕行・定光 善吾 安藤 康弘・荻津 兆秀・奥村 耕平・橋村 元雄 伊藤 時光・神谷 富雄・小溝 茂雄・遠田 治正 中 永一
		ミサボランティア	水野 貴久子	松本 亮英・三谷 涼子・佐藤 千代子・佐藤 和子 平川 ミエ子・神谷 富雄
	受付	土曜日受付	山口 静子	木村 洋子・坂井 美鈴・鹿内 容子・高尾 敬子 林 佳香
		日曜日受付 転出転入		越後 やしを・定光 孝子・鈴木節子・田村 ゆり子 林 佳香・蛭町 真理・舟ヶ崎 美英子・山口 静子 横山 真弓
	名簿	教会原簿・管財	橋村 元雄 (小池神父)	山田 恒雄 (ソフ開発)
広報	教会報	雷の子編集	中原 毅志	堤 貞夫・遠山 悦子・遠山 修 池永 廣美・小林 洋子・隠地 妙
		ウェブサイト	小池 神父	丸井 千尋
		週報	高尾 敬子	坂井 美鈴・原 久子・林 佳香・丸井 千尋 笠原 恵
		月報	佐藤 玲子	
	図書	図書の選択 購入・管理・貸出	横塚 千枝子	丹 雅子・宇治 淳子・横山 浩美・井上 淑子 高橋 檀・石井 節子・酒谷 和子・三上 昌子
売店	聖品販売	守田 紀美江	小池 裕子・舟ヶ崎 美英子・川本 芳實 橋本 愛子・小林 洋子・秦 ゆう子・池永 廣美	

### 各種対外活動担当 (運営委員: 安藤康弘・佐藤 玲子)

担当	業務	業務内容	責任者	担当メンバー
渉外	教区関係	教区一粒会運営委員会	鈴木 節子	多摩南宣教協力体より選出
		教区宣教司牧評議会		
	宣教協力体 関係	多摩南宣教協力体会議 企画小委員会	安藤 康弘	佐藤 玲子
	その他	施設利用外部団体	小池 神父	
その他				

## 平成25年度 カトリック町田教会 実行体制(Ⅱ)

### 典礼委員会

(典礼委員長 兼 運営委員：富樫 和美)

係	連絡担当
聖歌奉仕グループ	丸茂 いづみ・小吹 順子 吉田 多恵子
朗読手配	赤瀬 亮一・佐藤 昭子
奉 納	佐藤 昭子
典礼の花	坂井 美鈴
香 部 屋	牧野 千佳子
ミサ進行係	伊藤 宏・小林 彰・山口 良樹
聖体奉仕者	島田 和人

※冠婚葬祭の連絡 結婚式担当：高尾 敬子  
葬儀担当：白井 みさ

### 財務委員会

(財務委員長 兼 運営委員：田澤 三郎)

係	業務内容	担 当
財源の確保	財政の管理	田澤 三郎
収入管理	郵便 銀行 現金	林 茂 小池 神父 定光 孝子
支出管理	現金出納(支払) 郵便振込 銀行振込	神藤 由紀夫 小池 神父 坂井 剛
資産管理	資産台帳管理等 (リース含む)	神藤 由紀夫
データ管理	会計・決算データ管理	奥村 耕平

### 施設管理委員会 (施設管理委員長 兼 運営委員：荻津 兆秀)

係	業務内容	責任者	委 員
施設管理	中長期大規模改修及び修繕 小規模改修及び修繕・定期修繕 教会建設～建設後の教会施設・ 植栽の維持管理及びメンテナンス	荻津 兆秀	大木 雅信・松村 潔・鈴野 将 池田 克久・幾永 弘・小池神父

### 生涯養成委員会 (生涯養成委員長 兼 運営委員：前島千佳子)

係	業務内容	責任者	委 員
生涯養成	信徒の育成・信仰の理解 靈性を養う	前島千佳子	赤瀬 亮一・加瀬 弘子・寺澤 圭子 林 佳香・岡野 道子・丸井 千尋 水野 貴久子・三谷 涼子・村松 勢津子
教会学校	土曜学校	吉田 光子 嶋田 弘志	保護者をはじめとする皆さんで構成
	日曜学校	三須 真理 坪山 明美	
	中高生会	島田 和人	
	たまごの会(未就学児のお話会)	小林 由里子	

てくれた。

大都會にもまだこんな自然が残されているのかと感激。いよいよ最終の行程に入り、急な坂を登る。喘ぎながら登りつめると丘の上に大きな建物。そこが目ざす瀬田教会。

教会はフランススコ会修道院の神学校に併設されたもので、お二人の司祭からフランススコ会の活動についてお話を伺う。

丘の上に立つ修道院は、広大な敷地に簡素ながら立派な二階建ての建物。以前は四十名程のフランススコ会の学生がここで学んでいた時代もあったが、今はわずか四名とのこと。多勢の神学生で賑っていた当時を想うと淋しさを禁じ得なかった。

教会では丁度、土曜学校が開かれていて、子供達十数名が教会内で歌をうたったり、



お祈りをしたり、フランススコ会の神父が地域の人達と密接にかかわっている姿を垣間見ることができた。

またこの修道院は図書館を所有しており、カトリックに関する蔵書は日本一とのこと。現在、外部への貸し出しはやっていないが、図書室でいつでも自由に閲覧できる。

瀬田教会で、参加者全員でロザリオの祈りを唱えて、今回の巡礼は無事終了となった。誰一人落伍することなく、全員楽しく元気に巡礼ができたのは、ひとえに田澤、立木両氏のおかげとお礼を申し述べたい。

今回の巡礼に参加して、教会で、また歩きながら、祈りこそ心に安らぎと元気を与えてくれるものだと感じさせて頂いた一日でした。

終戦の日特集

マニラ巡礼

横山 浩美

戦後六十八年、母が亡くなって二十五年。

父がマニラのコレヒドール島で戦死したのを知っていた教会の友人に阿部強さんを紹介していただいたのは二年前。その夏、お里帰りの阿部エスビーさん母子に連れて行ってもらい、マニラ行きが実現しました。何から何まで、エス

ビーさんお任せの旅でした。

私のまわりには、戦争で父親を亡くした人が何人もいます。お父さんに一度も抱っこされることのなかった人も多く、私は父親との写真や手紙もたくさん残っていて、それだけでも慰めになります。

父は、昭和十八年、私が一才の時に国際電気通信株式会社マニラ支社へ赴任して行きました。父は筆まめで、母にたびたび手紙が届いたそうです。今、手元にある、昭和十九年十月の手紙が最後になりました。

その数が月後、父は現地召集を受け、マニラ湾に浮かぶ、

コレヒドール島へ渡り、二月に戦死したそうです。

マニラ湾から高速艇で一時間半、マニラ湾と南シナ海がつながる「玄関口」に、コレヒドール島があります。全長六・四キロ、面積約七・八平方キロ、この小さな島が、六十八年前、激戦の地となりました。昭和三十四年頃、遺族会の人達がコレヒドールを慰問し、母にも写真が数枚送られてきました。

骸骨、軍靴、鉄かぶと、高射砲、戦車が放置され、樹々や蔦がからまり、被いかぶさった写真でした。夜になると、「人のうめき声が聴こえる」

ワンポイント聖書



(192)

前島 誠

当時の聖堂の庭には、防空壕が備えつけられていた。いつでも避難できるように、聖堂の出入口から近い地点に掘られていた。

空襲警報発令のたびにミサ聖祭は一時中断。司式司祭も信徒一同も、聖堂脇の防空壕に退避する決まりである。

筆者は当時小学校の五年生。名称も「国民学校生」と呼ばれていた。

所属教会は「大森天主公教会」これが当時の正式の名称である。私の記憶では、昭和二十年五月の大空襲で灰となるまで、この看板は信者たちの心を支え続けてくれた。そう思えてならない。

この看板の意味は、「大森」は地名、「天守」は「神名」、「公」は「カトリック」(ラテ

ン語で「おおやけ」の意)。

後日、焼け跡の片付けの手伝いに教会をお訪ねした折、師は焼け跡から一個の花びんを掘り出した。それはその日、唯一の掘り出し物だった。だが帰途につこうとした時、私はつかつにも、その日ただ一個の収穫物を手からすべらして、割ってしまった。今も昨日のこのように、思い出されてならない。

(続く)



初聖体 六月二日

と書かれています。

二〇〇五年七月の毎日新聞「戦場は観光の島に」フィリピン、コレヒドールという写真と記事が載りました。島は戦死した米国やフィリピン、そして日本の兵士達をまつる平和記念館や庭園が整備され島内ツアーも組まれている。

また、二〇〇六年七月には戦跡巡礼という写真家、江成常夫氏のコレヒドール島の記事が載りました。

母ともはたせなかつた墓参に私は行きたいと思いつけていました。

エスピーさんは、マニラ滞在中、お子さんをお母さんに預け、私につき合っただけでした。大聖堂・教会どこでもミサが行われ、おおぜいの人が祈っていました。

父の会社があつた所、エスピーさんの母校、雨の中、父も歩いただろう道をエスピーさんとたくさん歩きました。

マニラ港のフェリー乗り場に行き、現在は週二日フェリーが出ていたのですが、台風が近づいているので、今回は断念しました。

「お父さん、浩美の家族はこんなに増えたよ」と持参した写真と花束を海に投げ入れました。

### 犠牲献金 中高生会

5月12日 7,796円  
(ペロニカ苑へ)  
6月9日 8,035円  
(ペロニカ苑へ)

#### 広報より

##### お詫びと訂正

296号掲載の、2013年度の運営委員会「の図の中に誤表記がありました。お詫びして次のように訂正いたします。

〔活動グループ担当〕

池田英雄 池田英夫

##### 「実行体制」について

前号で掲載した「実行体制」に関して各方面からさまざまな指摘が寄せられたため、運営委員会で再確認した結果を改訂版として再度今号に掲載することにしました。が、前回の表は破棄していただき、これを（現状における）正式なものとしてご利用いただくようお願いいたします。

##### 「ワンポイント聖書」について

40年近く続くこの人気コラム前号からは前島さんの聖書との出会いの頃を綴っていただいています。お楽しみに。

「言の子」次号編集会議予定

8月25日(日)09時30分  
於会議室

## 信 者 動 静

2013年4～7月

(個人情報のため、削除しています)